



平成 26 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンディスプレイ
代 表 者 名 代表取締役社長 大塚 周一
(コード番号：6740 東証一部)
問 合 せ 先 執行役員 西 康宏
チーフフィナンシャルオフィサー
(TEL. 03-6732-8100)

深谷工場の閉鎖及び特別損失計上のお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり、深谷工場の閉鎖について決議いたしました。また、この閉鎖に伴い、平成 27 年 3 月期下期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結会計期間において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 深谷工場閉鎖の理由

近年、スマートフォンやタブレット端末の世界的な普及拡大に伴い、中小型ディスプレイの需要が増加を続ける一方、ディスプレイ市場における競争環境は激しさを増しています。この競争に勝ち抜くためには、絶え間なく生産効率の向上を図り、利益の最大化を目指す必要があります。

当社は国内の 5 生産拠点において、ガラス基板が比較的小さな第 3 世代（ガラスサイズ：550mm×670mm）から、LTPS（低温ポリシリコン）技術対応としては世界最大クラスの第 6 世代（同：1,500mm×1,850mm）までの液晶パネル生産ラインを稼働していますが、今般、生産効率の劣る第 3 世代 LTPS 液晶ラインを有する深谷工場を閉鎖することを決定しました。その他諸施策の実施と合わせ、事業の効率化を進めることで、競争力の一層の強化を図るものです。

なお、深谷工場の従業員については、他拠点に再配置することを予定しています。

2. 閉鎖する深谷工場の概要

- (1) 所在地： 埼玉県深谷市幡羅町 1-9-2
- (2) 事業の概要： 中小型液晶パネル製造
- (3) 閉鎖時期： 平成 28 年 4 月（予定）

3. 今後の見通し

平成 27 年 3 月期下期に、深谷工場に係る固定資産の減損損失等約 70 億円を特別損失として計上する見込みです。当該金額につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の金額は今後の精査により変更が生じる可能性があります。

本件特別損失の見込み額を織り込んだ平成 27 年 3 月期の業績予想につきましては、本日別途開示の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、深谷工場閉鎖後は、年間約 70 億円の固定費削減となるものと見込んでいます。

当社は、社内リソースの高効率拠点への配置により、事業の効率化を促進し、競争力の強化を図ってまいります。

以 上